

# 閉幕セレモニー

日時: 11/26 (日) 15:30-16:00

会場: テレコムセンター 1階 アゴラステージ

企画提供: 科学技術振興機構

〈司会〉 嶋田 一義 JST 科学コミュニケーションセンター 調査役  
〈表彰状授与〉 真先正人 JST理事  
〈挨拶〉 渡辺 美代子 JST 科学コミュニケーションセンター センター長

## ■概要

3日間のサイエンスアゴラ2017を締めくくる閉幕セレモニーでは、今年のテーマである「越境する」に関連した優れた企画に贈られるサイエンスアゴラ賞の発表と表彰が行われました。続いて、JST科学コミュニケーションセンターの渡辺美代子センター長が今回のサイエンスアゴラの成果などを紹介しながらサイエンスアゴラ2017を総括しました。



## ■内容

### 4団体の企画がサイエンスアゴラ賞を受賞

閉幕セレモニーは、テレコムセンタービル1階中央のアゴラステージで行われました。

セレモニーでは、まずサイエンスアゴラ賞の発表と表彰が行われました。サイエンスアゴラ賞は、毎年のサイエンスアゴラのテーマに関連して模範的な科学コミュニケーションを行う企画に授与される賞です。

今年はプログラム審査委員会がサイエンスアゴラ2017の出展企画から、出展応募時の企画書を審査し、キーノートセッションおよび注目企画として推薦しました。この中から、企画委員会が企画内容と会期中のパフォーマンスを公募時に設定した7つの評価に沿って審査しました。評価の観点、サイエンスアゴラ賞の受賞者については、サイエンスアゴラのHPをご覧ください。

<http://www.jst.go.jp/csc/scienceagora/reports/2017/prize/>

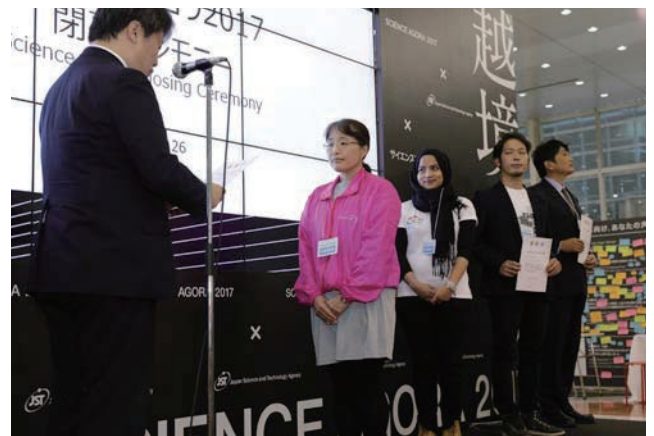
受賞した各団体の代表者はステージ上でJSTの真先正人理事から表彰状を受け取り、大きな拍手を浴びました。

サイエンスアゴラの来場者や出展者による人気投票で最も多くの得票を得た企画に授けられる参加者特別賞は、後日の集計の結果、「世界に一つの岩石標本製作—ジオパークを楽しもう!」（日本ジオパークネットワーク）に授与されました。

### 若者や科学者の参加が増加。東京以外でも連携企画を実施

最後にJST科学コミュニケーションセンターの渡辺美代子センター長が、サイエンスアゴラ2017の3日間を振り返りました。社会にはどのような問題があり、私たちは科学によってそれらをどのように解いていくかを考えてもらうことを目指して社会課題に寄り添ったプログラム構成にしたこと、東京・お台場だけではなく、仙台、神戸、福岡の全国4か所、合計7つの連携企画を開催したこと、さらに、10代をはじめとする若者や科学者に参加してもらうことを目指したことを紹介しました。のべ参加者数や企画数などの速報値も報告しました。

また、各ブースが今回のテーマ“越境する”に合わせた展示の工夫をしていたことに触れ、「今年の流れを来年以降もつないで、サイエンスアゴラを多くの人たちと未来を語り、政策に反映させていくための仕組みにしたい」と抱負を述べました。



最後に、司会進行を務めたJST科学コミュニケーションセンターの嶋田調査役は、京都工芸繊維大学の学生たちが科学と暮らしをテーマに制作したアゴラステージ天井の装飾インスタレーションや来年以降のサイエンスアゴラで使われるロゴについて紹介して閉幕となりました。

### ■ライターのひとつこと

サイエンスアゴラ賞を受けた4団体は、企画内容はもちろん、長い期間の準備と当日3日間のパフォーマンスが評価されたことで喜びもひとしお、記念撮影の間は笑顔が絶えませんでした。すべての展示ブースを回ったという渡辺美代子センター長は、サイエンスアゴラが回を重ねるごとに進化している様子に手応えを感じた様子でした。サイエンスアゴラ2018年は今年と同じく11月にお台場近辺の会場で開催される予定です。来年も楽しみです。

文責：小島あゆみ

